

▼フォトコンテストのQRはこちら



金山をみんなでPRしよう 100周年記念撮影スポットを設置



▲美杉ちゃんのフォトフレームで撮影

10月7日から町制施行100周年記念事業として、マルコの蔵、大堰公園休憩所、交流サロンポスト、蔵史館、役場、カムロヒュッテに記念撮影スポットを設置しています。スポットには美杉ちゃん顔はめパネルや100周年ミニ旗、金山杉フォトフレームを設置しました。見つけた際は、金山の街並みと一緒に写真を撮ってみてください。また、金山町フォトコンテストも開催中です。撮影スポットで撮影した写真もどしどしご応募ください。ご応募お待ちしております。

一房に10個 内町で珍しいアケビが収穫されました



▲アケビを収穫した松坂幸夫さん

工芸品の制作・販売や木工体験講座を開催している松坂幸夫さん(内町)のご自宅で珍しいアケビが収穫されました。8月から10月にかけて収穫されるアケビは通常一房に2、3個の実をつけますが、今回松坂さんの自宅で収穫されたアケビには10個の実が実りました。松坂さんは「子供の頃からアケビを食べているが、10個実をつけたのは初めて。何十年も観たことがないのでしばらく自宅に飾りたいと思う」と話してくれました。

教育委員の栗田剛さんご退任 後任に栗田伸一さんを任命



▲辞令を受けた栗田伸一さん

9月30日、12年間金山町教育委員会教育委員として教育行政にご尽力いただきました栗田剛さん(小蝉)が退任されました。後任として栗田伸一さん(上中田)の教育委員任命について、9月金山町議会定例会で上程し、全員賛成で同意が得られましたので、10月1日に金山町教育委員会教育委員として佐藤町長から辞令が交付されました。任期は令和10年9月30日までです。4年間よろしくお願いたします。

ラジオ体操20年以上継続 健康づくりと交流の場づくりのため



▲9月27日、ラジオ体操に参加されたみなさん

毎朝6時30分から新庄信用金庫金山支店前でラジオ体操を実施している伊藤始明さん(七日町)。身体の不調を感じたことをきっかけに約20年前にこの活動をはじめました。伊藤さんは「体操のおかげで毎日体調がいい。普段の生活の中で使わない筋肉を動かすことができるので健康に良く、これからも続けていきたい。参加は自由なのでぜひ来てほしい」と語ります。活動を始めた当初は3名でしたが、今では毎日6人程度の町民が集まり、健康推進や交流を続けています。

フラワーコネクションプロジェクト事業 ボランティアと植栽地のメンテナンス作業を実施



▲9月24日、メンテナンス作業を行った皆さん

9月24日、25日に大堰公園休憩所前の花壇と中央公民館前の緑地、金山亭協県道沿い花壇、金山中学校敷地内の花壇のメンテナンス作業が行われました。ガーデナーの青木真理子氏やグリーンカムハウス(維持管理業者)さんのご指導の下、集まったボランティアメンバーの方々は多年草の特徴や日頃の管理方法の意見交換をしながらメンテナンス作業を行いました。植栽地は11月上旬まで楽しむことができます。ぜひご覧ください。

町制施行100周年を記念 全世帯へミニバラを配布



▲9月27日、ミニバラを受け取った七日町地区

9月26日から29日にかけて、金山町町制施行100周年記念品のミニバラを各地区長の協力により全戸に配布されました。配布されたミニバラはチュチュ・オプティマで、育てやすく、四季を通じて咲くことが可能な品種となっています。鑑賞を長く楽しむためのポイントとして、鉢植えの場合は根詰まりしやすいので、冬の休眠期は鉢から木を取り出し、古い土を落とし、根をほぐすと良いそうです。また、新しい土に植え替えることによってより長くチュチュ・オプティマを楽しめるそうです。

一般県道稲沢下野明線の道路整備(2車線化)事業化に向け 山形県県土整備部長、最上総合支庁長への要望会を開催

8月27日、東郷地域の基幹路線であります一般県道稲沢下野明線の整備事業採択に向け、山形県県土整備部長、最上総合支庁長に対する要望会を開催しました。本路線の整備につきましては、東郷・有屋地域の沿道地区の皆さんが、平成25年度に同盟会を結成し、伊藤重成県議会議員、小松伸也県議会議員のお力添えもいただきながら、今日まで沢間から稲沢間約5.4kmの事業化に向け要望活動を続けてきました。その成果として、令和5年度末において、「山形県道路中期計画2028」の中で、計画期間後半の事業着手予定路線としての位置づけがなされたところです。



今回の要望会では、今年の7月下旬に発生した豪雨災害なども踏まえて、「県道整備の重要性を再認識した」、「田茂沢地区の圃場整備事業と足並みを揃えて事業を進めるべき」など、活発な意見交換がなされ、事業化に向けてまた一歩前進した手ごたえを感じました。本路線は、東郷地域・有屋地域の防災や地域振興には欠かせない道路ですので、早期の事業化を目指して今後とも継続した要望活動を続けてまいります。



金山町町制施行100周年を記念 ふれあいAutumn concertを開催



▲12曲が披露されたコンサート

9月27日、みすぎ荘で金山町町制施行100周年を記念し「ふれあいAutumn concert」が開催され、120名が参加しました。イベントでは羽場地区出身の多田有希さんや渡辺久美子さん、多田聡さんによるコンサートが開催され「ふるさと」や「東京ブギウギみすぎ荘バージョン」、「上を向いて歩こう」のほか、季節の歌が披露されました。また、コンサートではみすぎ荘音頭の体操やリズム遊びが行われ、参加者は歌や運動を楽しみました。

敬老の日に合わせて実施 十日町手作り弁当ボランティア



▲配布された手作り弁当

9月16日、十日町公民館で十日町ボランティアグループ10名による、手作り弁当の配布が行われました。十日町地区の高齢者と一人暮らしの世帯の見守りを目的にはじまったこの活動は、今年で13年目になり、十日町地区の一人暮らし世帯や、八幡会の会員に赤飯や半熟卵、肉炒め、山菜炒め、漬物などが入った弁当と里芋汁が85セット配布されました。活動に参加した柴田純一さん(十日町)は「町内の方々に喜んでいただけてとても嬉しい。今後も声掛け見守り活動を続けていきたい」と語りました。

100周年を記念し町政策講演会を開催 金山町の未来について語られました



▲講演会には約70名が出席しました

10月4日、役場町民ホールで、町政策講演会が開催されました。講師は金山町政策顧問の皆川芳嗣氏。「この100周年を振り返り金山町の未来を考える」をテーマに、ご講演していただきました。皆川氏は、「人口減少は止められなくても、町の活力を維持する手立てはある。関係人口を増やし、経済循環してもらう関係を築くべき。町を維持するには変化を恐れてはならない」と語り、イタリアの空き家活用事例や農福連携の重要性を挙げるなど、貴重なアドバイスをいただきました。

支えあえる地域防災を目指して 防災運動会を実施



▲防災運動会の参加者

9月8日、グリーンバレー神室を会場に、神室自主防災連絡協議会主催による「防災運動会」が開催されました。有屋地域の防災意識を高めることを目的とし、今年度から新たに始まったこの活動は、防災ウルトラクイズや水風船を活用した消化活動アトラクション、土嚢積み競争などが実施され、防災運動会に参加した約30名は防災意識を高めるとともに災害時の対応について理解を深めました。